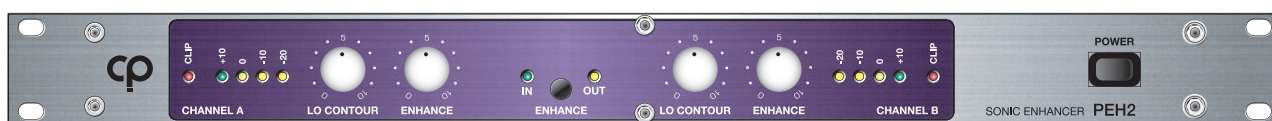




Sonic Enhancer PEH2

取扱説明書

Ver. 1.0



株式会社サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222

<https://www.soundhouse.co.jp> E-mail: shop@soundhouse.co.jp

ご使用上の注意

- ・ 雨中や湿気のある場所で使用、保管しないでください。
- ・ 水滴や飛沫を受けない場所に設置し、液体が入った容器等物を製品の上に置かないでください。
- ・ ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他の熱源の近く、高温になる場所には設置しないでください。また、換気口の通風を妨げないようにしてください。
- ・ 電源コードを踏んだり挟んだりしないようにしてください。
- ・ 安全接地（アース）を外したり、電源コードから取り外したりしないでください。
- ・ 機器に表示、またはマニュアルに記載されている仕様の電源に接続してください。
- ・ 雷が接近しているとき、または長期間本製品を使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ トラブルの際にメインブレーカーが容易に操作可能な状態にあることを確認してください。
- ・ 火災やユニットの損傷を防ぐため、必ずマニュアルに記載された推奨ヒューズを使用してください。ヒューズを交換する際は、ユニットの電源がオフにして、コンセントから電源コードを外してください。
- ・ 清掃の際は、乾いた清潔な布で拭いてください。ベンジン、シンナー、可燃性の洗剤などの液体クリーナーは使用しないでください。
- ・ 外装を外したり、分解や改造をしないでください。感電や火災、故障の原因となります。修理やメンテナンスが必要な場合は、必ず販売店へご依頼ください。

はじめに

CLASSIC PRO PEH2 ソニックエンハンサーをご購入いただきありがとうございます。

本製品は、音源本来の美しさと臨場感を向上させる 2 チャンネル・シグナルプロセッサーです。音の明瞭度を改善し、低音域の量感や力強さをコントロールできるため、ミックス全体に圧倒的な深みとパンチのあるサウンドを提供します。

使用用途と効果

音楽再生・PAシステム

ボーカルや楽器の明瞭度と聞き取りやすさを劇的に向上させるため、あらゆるライブ音響・PAシステムにおいて心強い味方となります。ミックス全体に深み、ディテール、そして力強さを加えることができます。

楽器用ラックシステム

ギター、ベース、キーボードなどにおいても、素晴らしい効果を発揮します。

エレキギター：音にキレや重厚感を加え、輪郭をはっきりさせます。

アコースティックギター：ナチュラルな輝きと存在感を提供します。

ベース：中音域を濁らせることなく、低音域に力強さを加えます。

キーボード：最新のサンプリング音源からヴィンテージ楽器にいたるまで、あらゆるシステムのサウンドを向上させます。

レコーディングシステム

最終的なミックスに躍動感を与えるため、個別のトラック（楽器やボーカルなど）にかかるエフェクトとしても、ミックスダウン時の全体の仕上げ（2トラック・ミックス全体）としても使用できます。

セットアップ（接続方法）

ミキサーやその他の音源（ソース）からのラインレベル信号を、PEH2のINPUTに接続します。

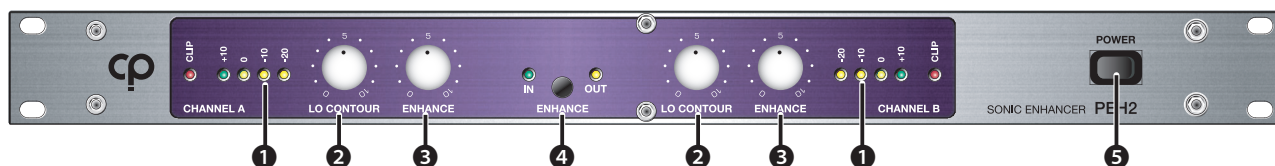
※注意事項

本機からの出力音に原音（ドライ音）が混ざると、本来の効果を発揮できません。リバーブのようにミキサーの「SEND&リターン」端子に接続して原音とミックスさせるのは非推奨です。

システム内の機材の破損や故障のリスクを避けるため、システムの各機器の電源を入れる前に、すべての音声ケーブルと電源ケーブルが正しく接続されていることを必ず確認してください。

各部の名称

フロントパネル



① LEDレベルメーター:

出力信号レベルを表示します。パネルに記載されている各数値は、デシベル (dBu) 単位の出力信号レベルです。「+10」は+10dBuの信号レベルを、「0」は0dBuの信号レベルを指します。

「ENHANCE」や「LO CONTOUR」のツマミを時計回りに回すと出力信号が大きくなります。CLIP LEDは、+20dBuで点灯します。実際のクリップポイント（歪みが発生するポイント）は+23dBuです。CLIP LEDが点かないように入力信号レベル、「ENHANCE」、「LO CONTOUR」を調整してください。

② LO CONTOUR:

位相補正された低音域（ベース周波数）の量を調節します。

③ ENHANCE:

位相補正された高音域（トレブル周波数）の量を調節します。

④ IN/OUT:

プロセッシングされた音（エフェクトON）と、されていない音（バイパス）を素早く比較するためのスイッチです。ボタンが押し込まれている状態がエフェクトON（IN）、ボタンが押されていない状態がエフェクトOFF（OUT）です。

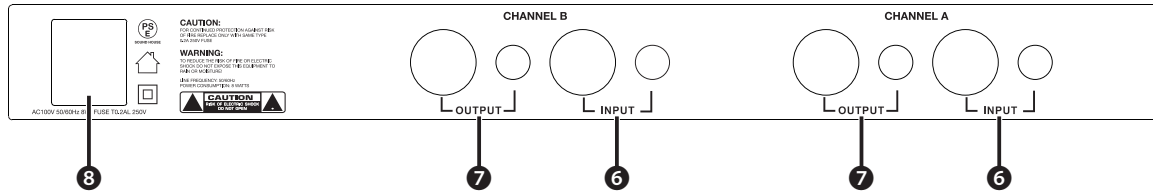
⑤ POWER:

本体の電源をON/OFFします。

※注意事項

スピーカーやアンプの破損を防ぐため、電源を入れる際は、必ず最初に周辺機器（ミキサーや本機など）の電源を入れ、10秒ほど待ってから、最後にパワーアンプの電源を入れてください。電源を切る際は、必ず最初にパワーアンプの電源を切り、その後に周辺機器の電源をOFFにしてください。

リアパネル



⑥ ヒューズホルダー付き電源コネクタ:

付属の電源ケーブルを接続します。

⑦ OUTPUT:

バランスXLR、またはTRSフォンケーブルを接続します。どちらか片方のみをご使用ください。
最大出力レベルは+23dBu、XLR端子は2番ホット、出力インピーダンスは600Ωです。

⑧ INPUT:

バランスXLR、またはTRSフォンケーブルを接続します。
どちらか片方のみをご使用ください。
XLR端子は2番ホット、入力インピーダンスは14.7kΩです。

※注意事項

対応信号レベル: PEH2は、+4dBuのラインレベルで動作するように設計されています。
出力仕様: 最小600Ωまでの負荷インピーダンスを駆動でき、最大出力レベルは+23dBuです。
直接接続の制限: 入力インピーダンスは14.7kΩ未満であるため、ギターやマイク、その他のハイインピーダンス機器を直接PEH2に接続する際は、適切なプリアンプやミキサー、DI等を経由させる必要があります。

仕様

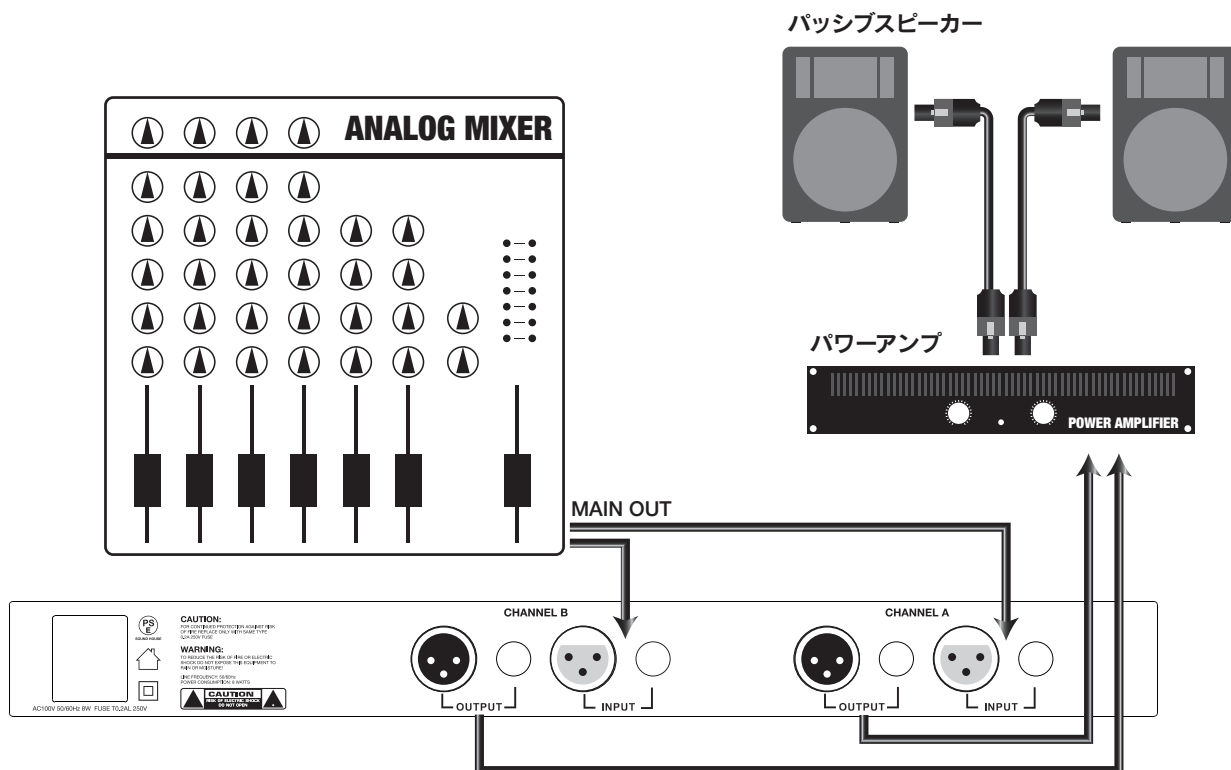
周波数特性	ENHANCEモード	プログラム依存
	BYPASSモード	10 Hz ~ 50,000 Hz +/-0.5 dBu、0 dBu入力
全高調波歪率 (THD)	ENHANCEモード	0.025 %未満 (-10 dBu入力時、20~20,000 Hz)
	BYPASSモード	0.002 %未満 (-10 dBu入力時、20~20,000 Hz)
最大出力	+23 dBu (コントロールの設定に依存)	
入力端子	バランスTRSフォン、またはXLR	
出力端子	バランスTRSフォン、またはXLR	
入力感度	-45 dBu (最大ENHANCE時)	
ENHANCE	+12 dBuブースト (5kHz、0dBu入力時)	
LO CONTOUR	+12 dBuブースト (50Hz、0dBu入力時)	
電源仕様	AC 100 V、50/60 Hz、8 W	
ヒューズ	250 V、0.2 A、スローブロー (タイムラグ) 型	
寸法(WxHxD)	483 × 43 × 143 mm (突起含まず)	
質量	2 kg	

0 dBu = 0.775 Vrms

※注意:仕様および外観は予告なく変更されることがあります。

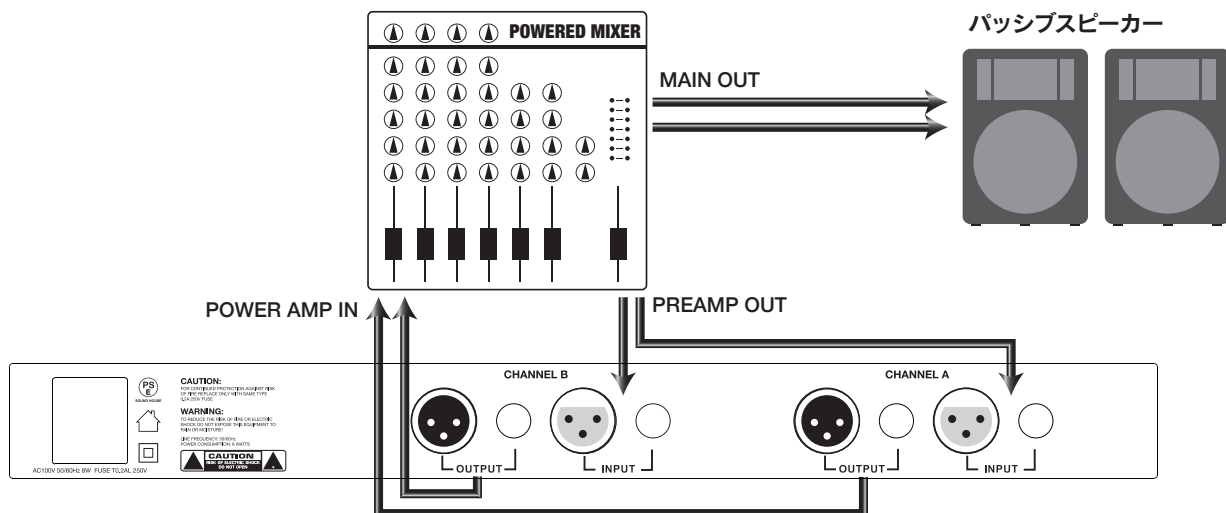
アナログミキサー

アナログミキサーの出力(メインアウトなど)をPEH2の入力に接続し、PEH2の出力をパワーアンプに接続します。



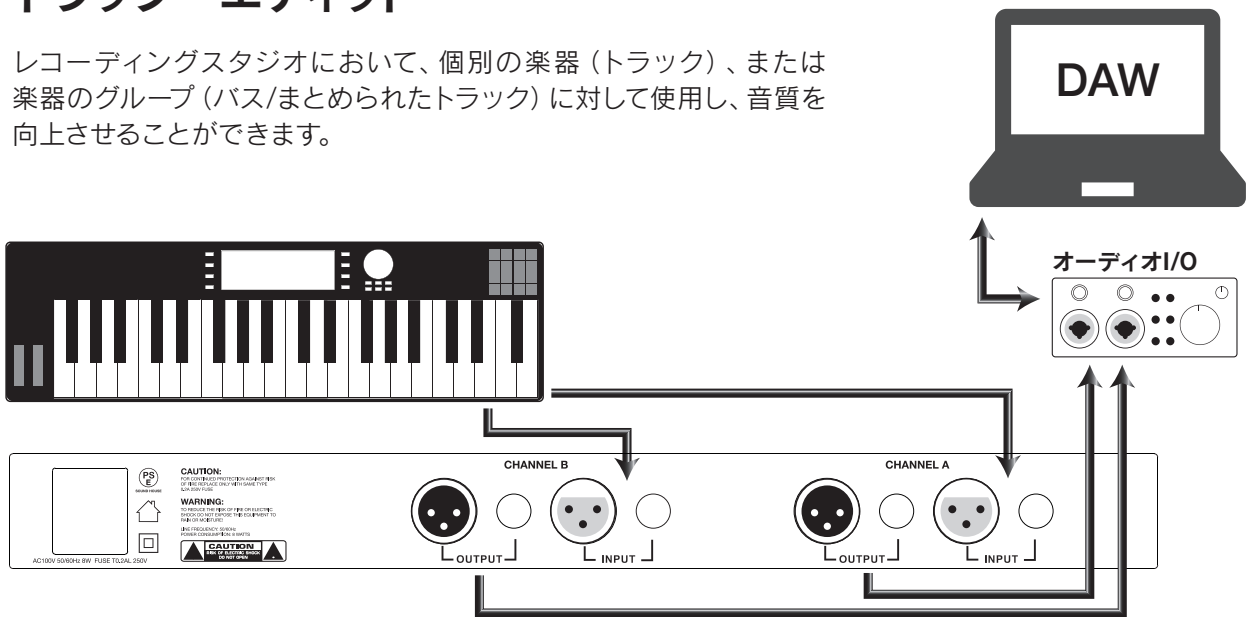
パワードミキサー

ミキサーの「プリアンプ・アウト/パワーアンプ・イン (Pre-Amp Out/Power Amp In)」セクションに接続します。もしミキサーにこの端子がない場合は、メイン (MAIN) または各チャンネルの「インサート・ポイント (Insert points)」を使用してください。



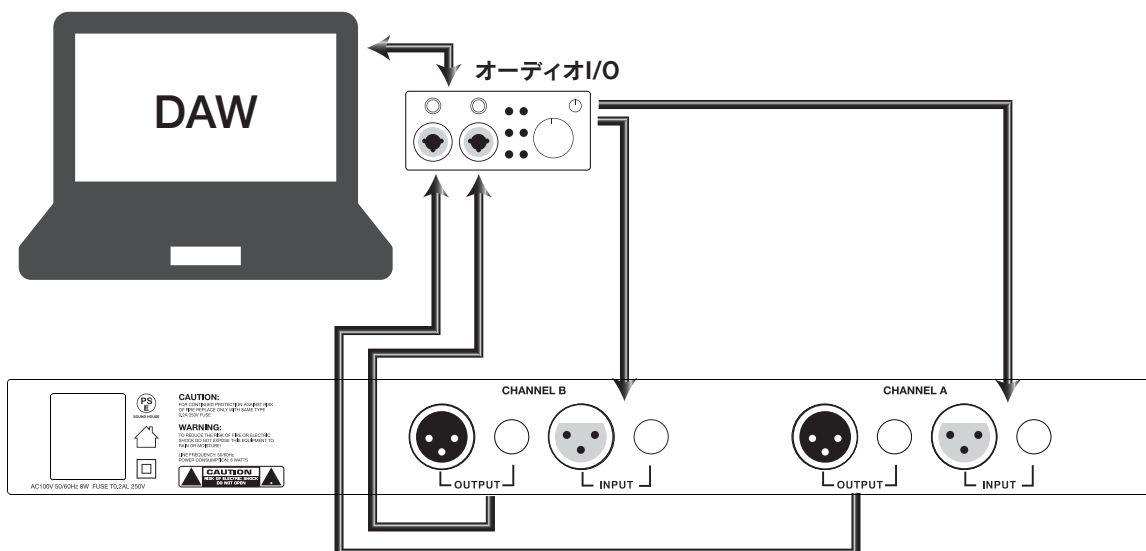
トラック・エディット

レコーディングスタジオにおいて、個別の楽器（トラック）、または楽器のグループ（バス/まとめられたトラック）に対して使用し、音質を向上させることができます。



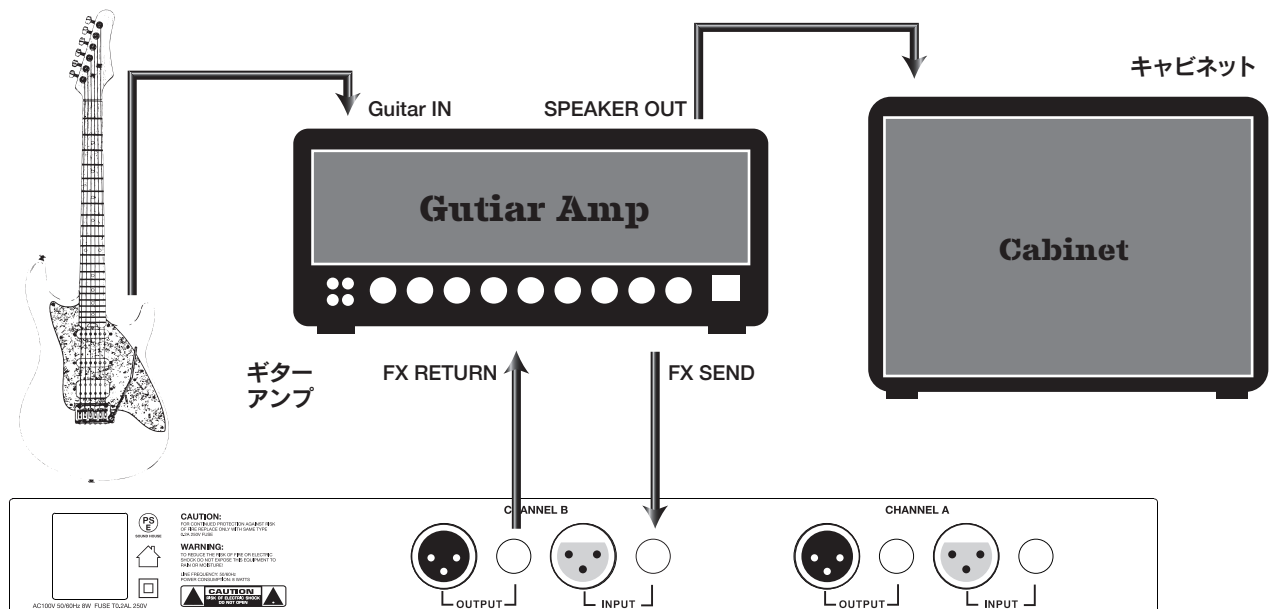
マスタリング

マスタリング/ダビングに使用します。すでに個々のトラックに対して使用している場合であっても、トータルミックス（全体の仕上げ）においてさらに音質を向上させることができます。



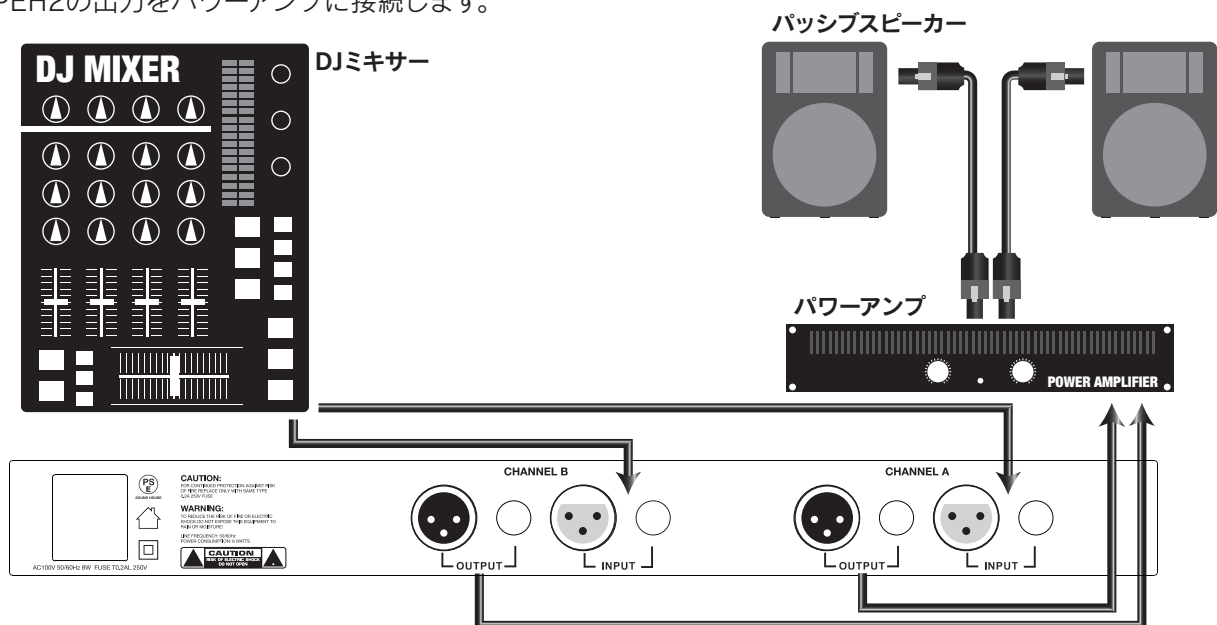
ギター

ギタープリアンプのエフェクトループ（センド／リターン）に接続して使用します。キーボードで使用する場合は、サブミキサーの出力に配置するのが最も理想的です。



DJ

DJミキサーの出力（メインアウトなど）をPEH2の入力に接続し、PEH2の出力をパワーアンプに接続します。





Classic Pro